

紙ふうせん

KAMIFUSEN No.92

成田市立図書館だより 第92号

編集 成田市立図書館

〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3

<https://www.library.city.narita.lg.jp>

2021年（令和3年）11月15日発行

☎ 0476-27-4646（自動応答）

0476-27-2000（直通）

FAX 0476-27-4641

7月29日（木）に「なつやすみ
おはなしがい」を本館で開催し
ました。

当日は11人の子どもたちが参加
し、おはなしの世界を楽しみま
した。



8月17日（火）に「杜のなつや
すみおはなしがい」をもりんぴ
あこうづ MORI × MORI ホールで
開催しました。
今年は「ちょっとこわーいおは
なしがい」と題し、怖いお話を4
つ、子どもたちと楽しみました。

（紙面紹介）

- ・市史講座 「成田祇園祭記念行事」 講師：関根賢次氏（成田市副市長）
- ・図書館講座 「法律ってなんのため？」 講師：山崎聰一郎氏（教育研究者）
- ・科学あそび講座 「電池のひみつ～レモン電池でオルゴールをならそう～」
講師：科学読物研究会 坂口美佳子氏
- ・電子書籍サービスが始まりました



市史講座「成田祇園祭記念行事」

講師：関根賢次氏（成田市副市長） 第1回 2021.4.24（土）
第2回 2021.5.8（土）

成田山奥之院の祭禮である成田山祇園会は、文献に1721（享保6）年には行われていたとの記述があり、2021（令和3）年は300年の節目となります。これを記念し、成田市副市長の関根賢次氏を講師に迎え、成田祇園祭についての講座を企画したところ、申込開始から早々に定員に達したため、両日とも午前・午後2回ずつの開催となりました。



第1回 成田祇園祭の歴史「暦と祭り」

第1回は、成田祇園祭の歴史がテーマでした。

「享保の改革」で知られる徳川吉宗が将軍を務めた享保年間（1716年～1736年）には、屋台を出すなど派手なお祭りが禁止されていました。成田で行われていたお祭りについても、1731（享保16）年の文書に、踊りが中断されていたという記述が残っています。

他にも、1872（明治5）年まで使われていた旧暦についてや、現在は残っていない風習・習慣についての解説がありました。例えば、お祭りに参加する子どもは参加する町内の子どもである証として、鼻に白粉を塗っていたなど、成田祇園祭の歴史について貴重な逸話が紹介されました。

第2回 成田祇園祭の実際「祭りよもやま話」

第2回は、成田祇園祭の特徴やお囃子、山車のこと、お祭りの楽しみ方まで、他では聞けないよもやま話が数多く語られました。

成田祇園祭では、江戸囃子（神田囃子）と佐原囃子の2種類のお囃子が奏でられています。仲町、本町は江戸囃子、上町、幸町、花崎町、田町、東町は佐原囃子を用いており、このように、同じお祭りでふたつのお囃子が存在しているのは、かなり珍しいことです。

また、成田祇園祭の魅力のひとつである山車や屋台についても詳しい解説がありました。現在、成田祇園祭で用いられている最も古い山車は1900（明治33）年に製作された仲町のもので、次いで古いのが1902（明治35）年に製作された本町のものとなり、芸術的にも一見の価値があります。成田祇園祭では、これらの山車や屋台が成田山参道などの狭い道ですれ違う姿を間近で見ることができることから、成田祇園祭の見どころのひとつとして、是非注目してください。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、成田祇園祭は中止となってしまいましたが、講座を通して、成田祇園祭の魅力に改めて触れることができました。

参考になる本 ※全て図書館で借りることができます。

『成田祇園祭々禮考』関根賢次/著 2021年 文芸社

『成田祇園祭』1988年 千葉日報社



図書館講座「法律ってなんのため??」

講師：山崎聰一郎氏（教育研究者）2021.7.28（水）

中高生を主な対象にした図書館講座「法律ってなんのため??」をもりんぴあこうづのMORI×MORIホールで開催しました。夏休み中ということもあり、小学生から大人まで50名を超える参加がありました。

講師は、自身がいじめの被害者にも加害者にもなった経験から、「法教育を通じたいじめ問題解決」をテーマに研究を続けています。

今回の講座では、法律とは何のために存在するのか、どうすれば皆が生きやすい社会になるのかといったことをテーマに話され、「大切なのは自分で自分の人生を決めること」という印象的な言葉で講演は締められました。



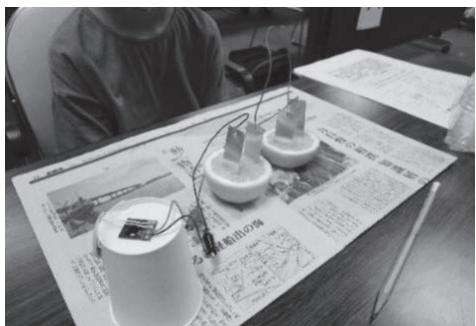
山崎先生の著書 ※全て図書館で借りることができます。

『こども六法』2019年 弘文堂 『こども六法の使い方』2021年 弘文堂

科学あそび講座

「電池のひみつ～レモン電池でオルゴールをならそう～」

講師：科学読物研究会 坂口美佳子氏 2021.7.21（水）



今年度の科学あそび講座は「電池のひみつ～レモン電池でオルゴールをならそう～」というテーマで開催しました。参加者は午前の部が17名、午後の部は18名でした。

まず、いろいろな電池について学習してもらいました。身近な電池であるアルカリ乾電池やコイン電池だけでなく、リチウムイオン電池や太陽電池などの新しい電池についても解説がありました。お待ちかねの実験では、電子オルゴールに銅と亜鉛の金属板を繋いでいろいろな液体につけ、電気を通すかを調べました。塩水や酢、オレンジジュースなどにつけると微かに音がなりました。子どもたちは金属板の向きや距離を変えると音が大きくなったり小さくなったりすることに気づいたようです。

電池のしくみを体感したところで、いよいよみんなでレモン電池を作りました。前の実験で使った電子オルゴールをレモンに繋ぐと、先ほどの実験よりも大きな音となり、歓声が上がりました。高学年の子たちはジャガイモやリンゴなどで実験をし、無事にオルゴールをならすことができました。実験は大成功で、家でも何度も楽しく実験できるよう、完成したレモン電池を持ち帰りました。

参考になる本 ※全て図書館で借りることができます。

『よくわかる電気のしくみ』伊藤尚未/著 2013年 誠文堂新光社

『ファラデーと電磁力』ブライアン・バウアーズ/作 2016年 玉川大学出版部

電子書籍サービスが始まりました

成田市内にお住まいの方、通勤・通学されている方ならどなたでもご利用いただけます

成田市立図書館では、パソコンやスマートフォンなどから24時間365日いつでも書籍を借りて、読んで、返却できる、電子書籍サービスを開始しました。(8月1日から)

電子書籍を利用すると、通勤・通学の時間や旅先などで紙の本を持ち歩かずに読書をすることができます。料理中に気軽にレシピを確認したりすることができます。また、文字の拡大ができるなど、紙の本にはない魅力があります。自分のライフスタイルに合わせて、読書を楽しんでください。

「成田市立図書館電子書籍サービスサイト」<https://narita-public-library.overdrive.com/>



図書館ホームページの「電子書籍サービス」ボタンを押すと、電子書籍サービスサイトのトップページに移動します。

利用するには

ご利用の際は、図書館の利用カードと電子書籍サービス用パスワードが必要です。電子書籍サービス用パスワードの発行の際は、ご本人が、図書館の利用カードと本人確認できるもの（運転免許証・保険証・学生証などの公的証明書）をお持ちください。窓口にて、電子書籍サービス用仮パスワードを発行します。

貸出点数と貸出期間

貸出点数=3点まで（予約も3点まで） 貸出期間=2週間



編 集 後 記

8月から開始した電子書籍サービスですが、9月末までの2ヶ月間で917冊の貸出がありました。

様々なジャンルの本が借りられていますが、中でも料理や片付けの本は人気があります。また、“国際都市成田”ならではの洋書（他言語の本）もよく利用されているようです。

今後、電子書籍のラインナップをさらに充実させていきますので、どうぞご期待ください。

成田市立図書館だより	No.92
発行	成田市
編集	成田市立図書館
〒 286-0017 千葉県成田市赤坂 1-1-3	
発行日	2021.11.15
登録番号	成教図 21-028



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。